



北野の風に乗せて

北野小学校 校長室だより

第 4 号

令和5年6月30日(金)

北野小学校長 本郷 一毅

飼育・栽培活動を通して

学校では、様々な動植物の飼育・栽培活動をしています。ずっと前は、多くの学校に飼育小屋があり、いろいろな動物を飼育していました。私が勤めてきた学校でも、珍しいものでは大きなクジャクがいたことがありました。市内でもヤギやヒツジを飼っていた学校もあります。前任の学校では、なんとワニを飼っていたという記録もありました。

北野小学校でも、以前はウサギを飼育しており、その飼育小屋である「ぴよんココハウス」がまだ残っています。このような動物の飼育は、学校週5日制が始まる頃から減り始め、今では市内ではあまり見られなくなりました。理由は、土日や長期休業中に世話をする人を確保するのが難しい、衛生的によくない、感染症の心配がある、アレルギーの子がいることなどです。

しかし、学校で飼育・栽培活動が消えてしまったわけではありません。生活科や理科など、教科の学習の中で行っています。1年生は、一人一鉢のアサガオを育てています。大きな葉がたくさんでき、もうすぐ花が咲きそうです。2年生は、一人一鉢の野菜に加え、昆虫などの小さな動物の世話を学校でしている子がいます。3年生はチョウを育てていました。もう何匹も成虫になっています。ホウセンカも育てています。4年生はツルレイシ（ゴーヤ）を育てています。5年生は、メダカを飼っているクラスがありました。総合的な学習で、稲作体験もしています。6年生は、今は学年や学級で育てているものはありませんが、少し前までジャガイモを育てていました。

ところで、2年生の廊下には、今では珍しくなってしまった生き物がいます。オケラです。私が自宅で畑仕事をしているときに見つけ、持ってきました。「手のひらを太陽に」の歌詞に「ミミズだって オケラだって アメンボだって みんなみんな生きているんだ友達なんだ」とありますが、オケラを見たことがある子供は、とても少なくなっています。職員でも、初めて見た人が何人もいます。不思議な形をした生き物に、子供たちは興味津々で、友達になろうとしています。(オケラはかなり迷惑そうです)



オケラの飼育ケースです。いつも土に潜っているので写真にとれません。

飼育・栽培活動は、成長や発生の過程、生物の性質を学ぶ教科の学習のためだけでなく、生き物の命を慈しむ心を育むために、大きな価値があります。命の尊さや、不思議さ、つながりなどを体験として実感できます。本や映像からでは味わえない感動を伴います。枯れてしまったり死んでしまったりすることからも、命の大切さを学ぶことができます。学校では、このような飼育・栽培活動も大切にしていきたいと考えています。

引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました

6月11日（土）の授業参観に引き続いて、児童引き渡し訓練を行いました。今回の訓練は、岡崎市に震度5以上の地震が起きたことを想定しての訓練でした。

子供たちは、緊急地震速報（訓練用）の放送を受け、まずは自分の身を守るために机の下に入ります。その後、運動場へ避難して、クラスごとに待機します。子供たちの避難の様子はとても立派でした。全員の避難完了の後、保護者の方へ引き渡しを始めました。

11時50分からの引き渡しでしたが、12時までに全員の引き渡しを完了することができました。保護者の皆さんが、協力してくださったおかげです。ありがとうございました。6月2日の大雨の際も、大きな混乱なく、子供たちを下校させることができ、改めて、保護者や地域の皆さんの協力体制がしっかりできていることを感じました。

災害はいつどこで起きるか分かりません。大規模な災害だと、連絡手段も途絶えます。万が一の災害の際、どのように行動するか、ご家族でも話し合っておいてください。



6月6日 5年生が田植え体験を行いました。



6月10日 5年3組、授業参観（道徳）の一場面です。



6月10日 1年3組、授業参観（図工）の一場面です。



6月10日 引き渡し訓練での避難の様子です。



6月17日 祝・男子バスケットボール部 市内大会3位



6月23日 6年生が租税教室で税について学びました。